

歴史(江戸時代⑩・学問と文化編)

① 学は、日本古来の精神を明らかにしようとする学問で、18世紀後半に、
 ② _____ は③ _____』をあらわし、④ _____ 学を大成させた。同じころ、
 ⑤ _____ などがヨーロッパの解剖書を翻訳した⑥ _____』を出版し、
 オランダ語でヨーロッパの文化を学ぶ⑦ _____ 学の基礎を築いた。また、19世紀
 はじめには、⑧ _____ が正確な日本地図をつくった。そして、諸藩では、
 人材育成のために⑨ _____ を設け、町や農村には多くの⑩ _____ が開かれた。
 19世紀はじめ、文化の中心が上方から江戸に移り、この時代の庶民をにない手とする
 文化を⑪ _____ 文化という。この頃、浮世絵の技術も進み、鈴木春信が始めた
 ⑫ _____ は大流行し、⑬ _____ は美人画、⑭ _____ や⑮ _____ は
 風景画で優れた作品を残した。また、⑯ _____ の『東海道中膝栗毛』や
 ⑰ _____ の『南総里見八犬伝』などの小説は多くの人に読まれ、俳句では、
 ⑱ _____ が絵のような風景を表現し、⑲ _____ は農民の感情をよんだ。